平成３０年８月３日
相模原市発表資料

平成２９年の相模原市の自殺統計について

神奈川県警察本部から平成２９年における自殺の状況のデータ提供を受け、市内で発生した自殺の状況をまとめましたのでお知らせします。

なお、今回の統計は、相模原市自殺対策協議会での審議及び自殺総合対策において活用していきます。

本市の状況

○　平成２９年における市内の自殺者数は、前年から２８人増加し、１２０人となっている。
○　年代別では、４０歳代が最も多い。
○　性別では、男性が７０％を占め、２０歳代から６０歳代では、男性が６０％以上を占めている。
○　職業別では、主婦や学生を含む無職者が６５．８％と最も多い。
○　原因・動機別では不詳を除くと、健康問題が最も多く、次いで経済・生活問題、家庭問題の順となっている。
○　自殺者の２２．５％に自殺未遂歴がある。

問合せ先
精神保健福祉センター
電話　０４２―７６９－９８１８
対応責任者　落合　万智子

資　料

平成２９年における相模原市の自殺者の状況

神奈川県警察本部から自殺統計原票に基づく集計データの提供を受け、集計・分析を行ったので、その結果を報告する。

また、提供されたデータは厚生労働省発表「地域における自殺の基礎資料（平成 29 年）、発見日ベース、発見地」の相模原市分となっている。

1　自殺者数・自殺死亡率の推移

2　自殺者の年代別・男女別状況

3　自殺者の職業別状況

4　自殺の原因・動機

5　自殺未遂歴の状況

1　自殺者数・自殺死亡率の推移

平成 29 年の相模原市内の自殺者数は、前年から 28 人増加し、120 人となった。

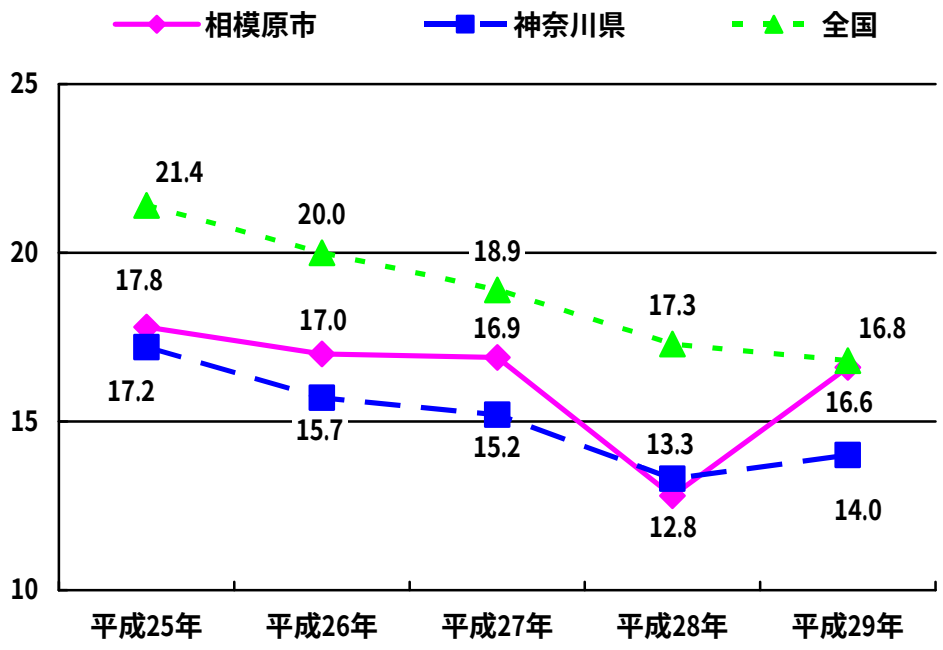
自殺死亡率は、前年から 3.8 ポイント増加となった（表 1，図 1）。

＜　表 1．自殺者数・自殺死亡率の推移　＞

	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
相模原市自殺者数（人）	128	123	122	92	120
相模原市自殺死亡率	17.8	17.0	16.9	12.8	16.6
神奈川県自殺者数（人）	1,558	1,422	1,382	1,213	1,276
神奈川県自殺死亡率	17.2	15.7	15.2	13.3	14.0
全国自殺者数（人）	27,283	25,427	24,025	21,897	21,321
全国自殺死亡率	21.4	20.0	18.9	17.3	16.8

※自殺死亡率とは、毎年 10 月 1 日の人口 10 万人当たりの自殺者数

※全国の自殺者数及び自殺死亡率は、毎年 3 月発表の厚生労働省資料から抜粋



【　図 1．相模原市・神奈川県・全国の自殺死亡率の推移　】

2　自殺者の年代別・男女別状況

平成 29 年の年代別自殺者数は、40 歳代が 29 人で全体の 24.2%と最も多くなっている（表 2）。男女別自殺者数の割合は、男性が 70.0%を占めている（表 3）。

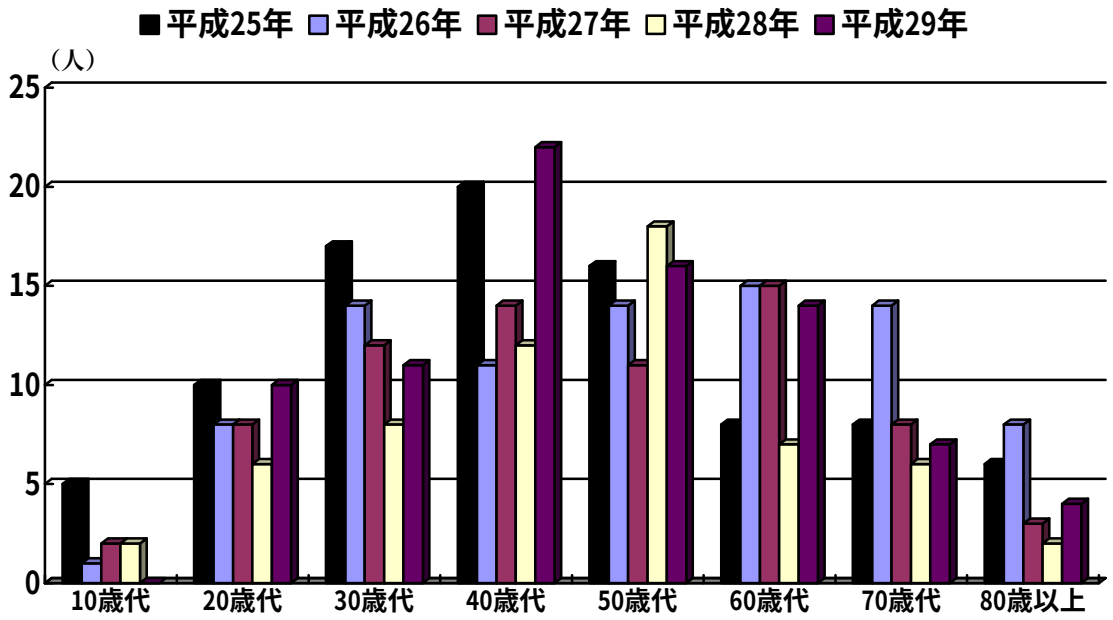
男女共に 40 歳代が最も多く、男性 22 人、女性 7 人となっている（図 2，図 3）。年代別男女別自殺者の割合は、20 歳代から 60 歳代で男性が 60%以上を占めている（図 4）。

＜　表 2．年代別自殺者数と割合　＞

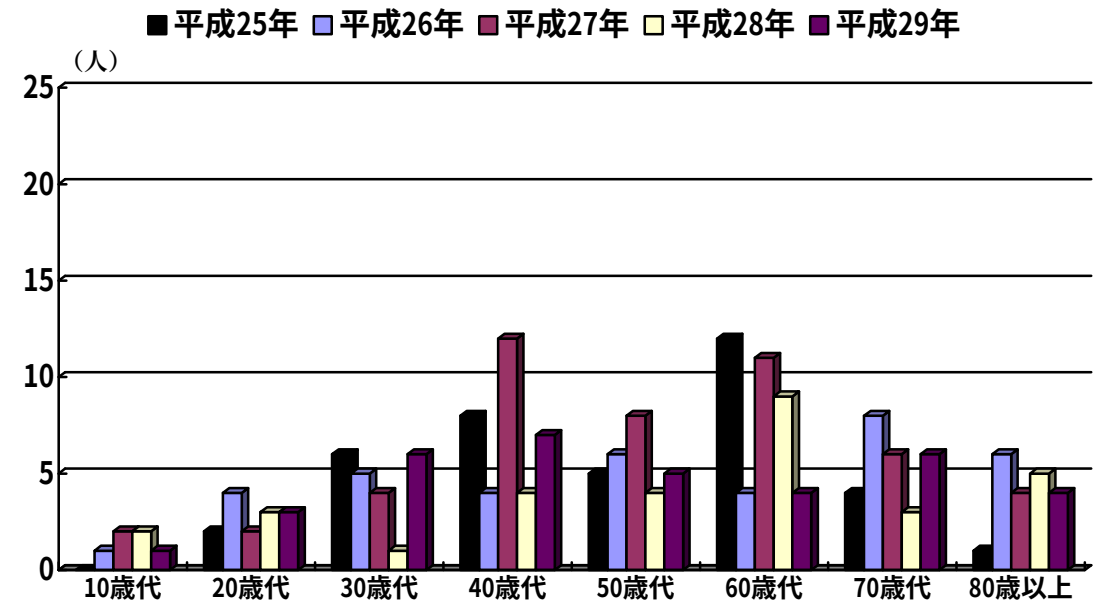
	平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年	
	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)
10 歳代	5	3.9	2	1.6	4	3.3	4	4.3	1	0.8
20 歳代	12	9.4	12	9.8	10	8.2	9	9.8	13	10.8
30 歳代	23	17.9	19	15.4	16	13.1	9	9.8	17	14.2
40 歳代	28	21.9	15	12.2	26	21.3	16	17.4	29	24.2
50 歳代	21	16.4	20	16.3	19	15.6	22	23.9	21	17.5
60 歳代	20	15.6	19	15.4	26	21.3	16	17.4	18	15.0
70 歳代	12	9.4	22	17.9	14	11.5	9	9.8	13	10.8
80 歳以上	7	5.5	14	11.4	7	5.7	7	7.6	8	6.7
総計	128	100.0	123	100.0	122	100.0	92	100.0	120	100.0

＜　表 3．男女別自殺者数と割合　＞

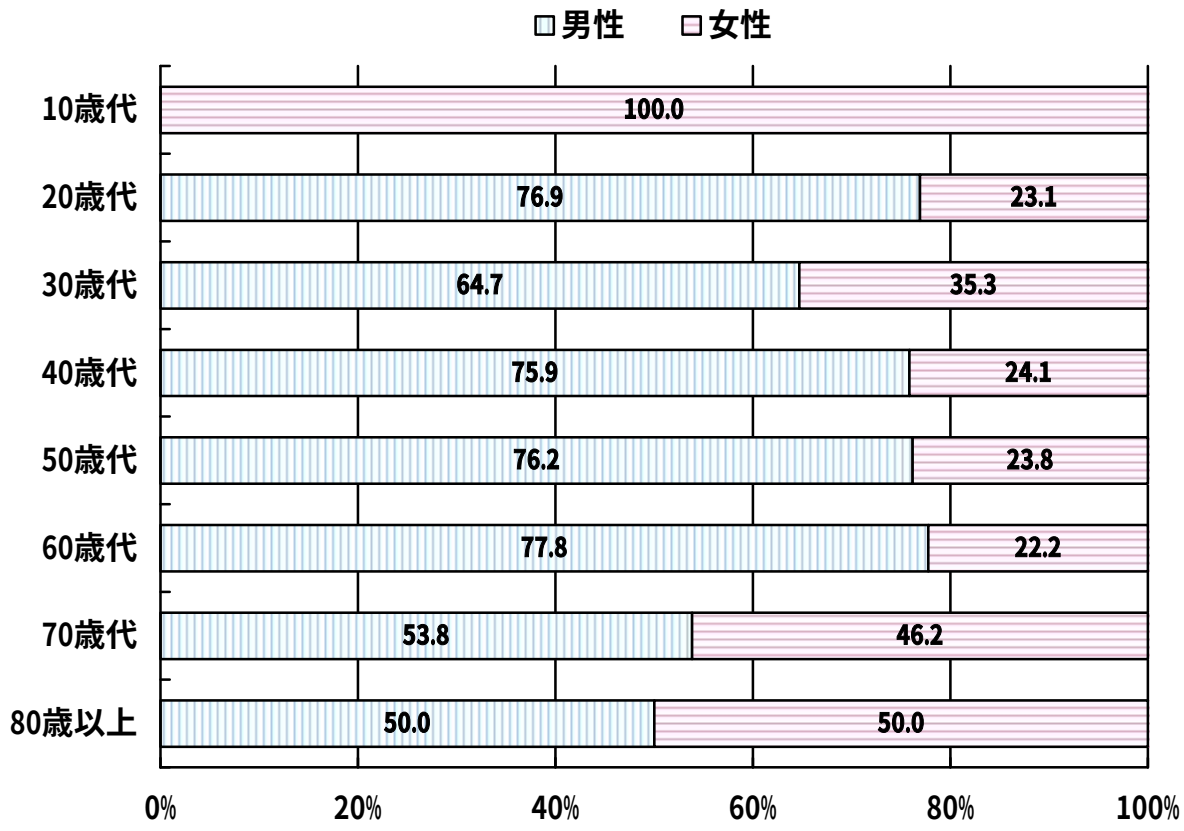
	平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年	
	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)
男性	90	70.3	85	69.1	73	59.8	61	66.3	84	70.0
女性	38	29.7	38	30.9	49	40.2	31	33.7	36	30.0
総計	128	100.0	123	100.0	122	100.0	92	100.0	120	100.0



【　図 2．男性年齢別自殺者数の推移　】



【　図 3．女性年齢別自殺者数の推移　】



【　図 4．平成 29 年における年代別男女別自殺者の割合　】

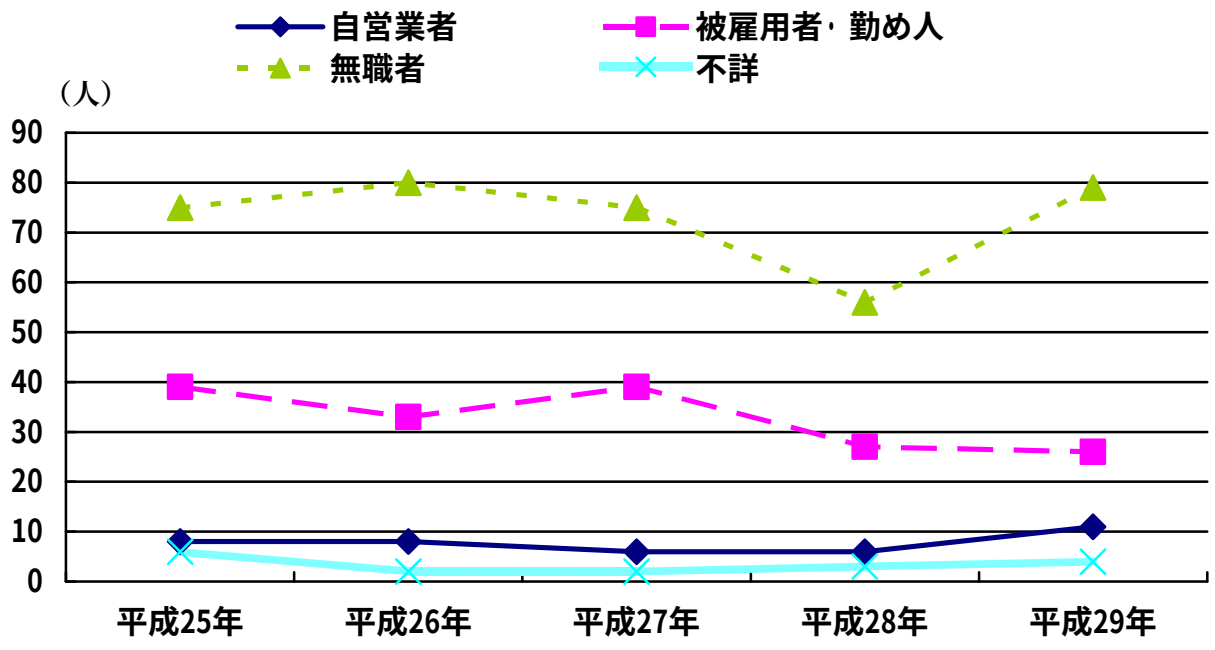
3　自殺者の職業別状況

平成 29 年の自殺者の職業別状況は、無職者が 79 人で全体の 65.8%を占めている（表 4，図 5）。年代別職業の割合は、40 歳代で被雇用者・勤め人の割合が高くなっている（図 6）。

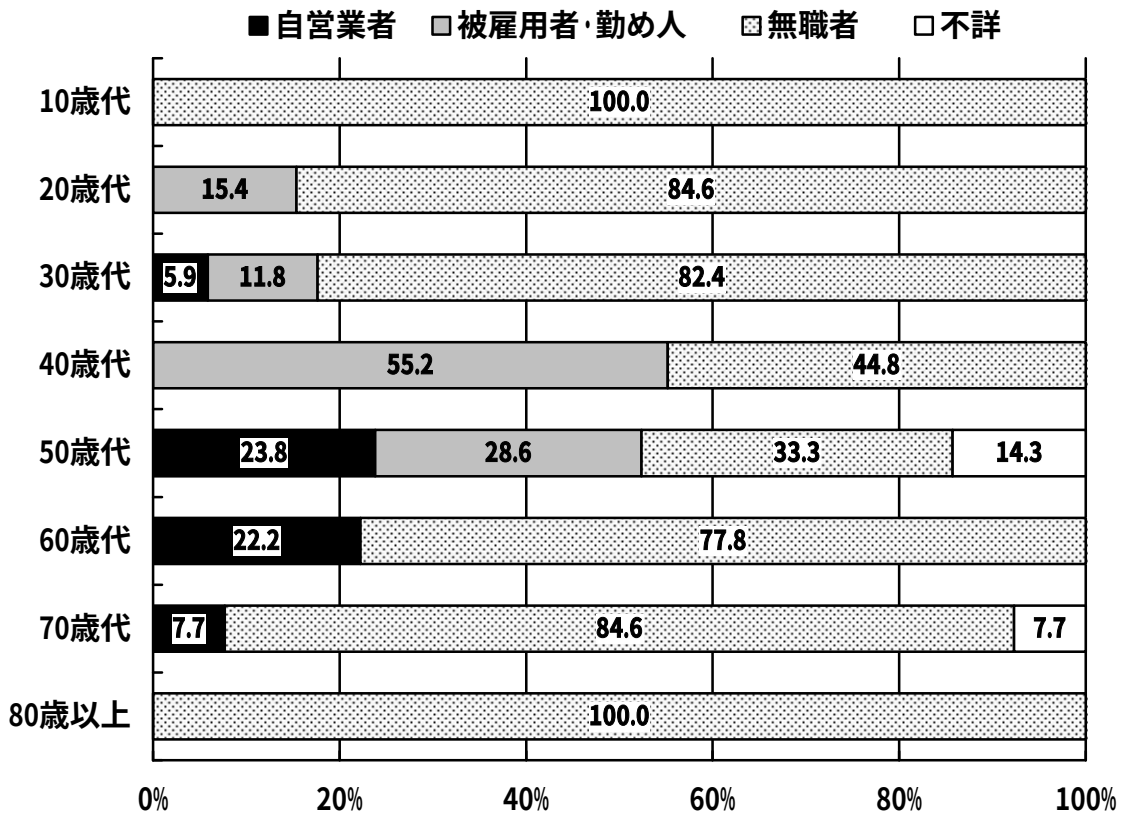
なお、無職者には、学生・生徒等、主婦、失業者、利子・配当・家賃等生活者、年金・雇用保険等生活者、浮浪者、その他の無職者が含まれる。

＜　表 4．職業別自殺者数と割合　＞

	平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年	
	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)
自営業者	8	6.2	8	6.5	6	4.9	6	6.5	11	9.2
被雇用者・勤め人	39	30.5	33	26.8	39	32.0	27	29.3	26	21.7
無職者	75	58.6	80	65.1	75	61.5	56	60.9	79	65.8
不　詳	6	4.7	2	1.6	2	1.6	3	3.3	4	3.3
総計	128	100.0	123	100.0	122	100.0	92	100.0	120	100.0



【　図 5．職業別自殺者数の推移　】



【　図 6．平成 29 年における年代別職業の割合　】

4　自殺の原因・動機

平成 29 年の原因･動機別の自殺者の割合は、「不詳」を除くと「健康問題」29.5%、「経済・生活問題」16.4%、「家庭問題」11.0%の順で高くなっている（表 5，図 7，図 8）。

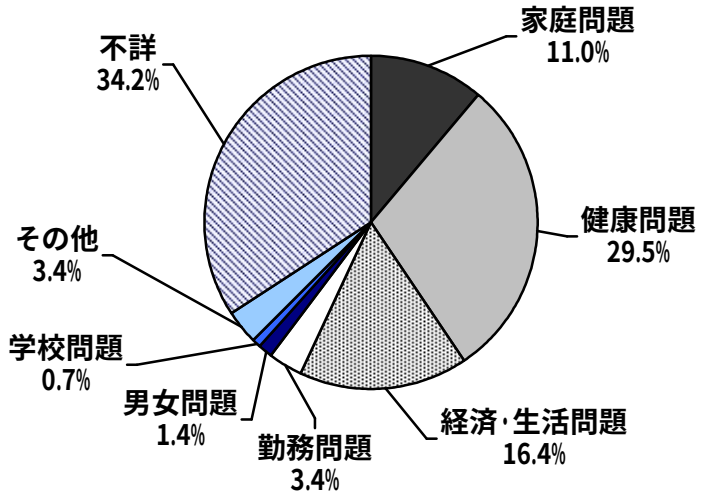
年代別では、「不詳」を除くと、「健康問題」が 50 歳代以外の全ての年代で第 1 位となっている（表 6）。職業別では、「不詳」を除くと、自営業者では「経済・生活問題」が、被雇用者・勤め人では「家庭問題」、「経済・生活問題」及び「勤務問題」が、無職者では「健康問題」が、それぞれ第 1 位となっている（図 9）。無職者のうち、学生・生徒等では「男女問題」、「学校問題」が、主婦、年金・雇用保険等生活者、利子・配当・家賃等生活者及びその他の無職者では「健康問題」が、失業者では「経済・生活問題」が、それぞれ最も高かった（図 10）。

原因・動機の判断材料としては、遺書が 36.1%を占めているが、自殺者の 40.9%が原因・動機の判断材料を残していない（表 7）。

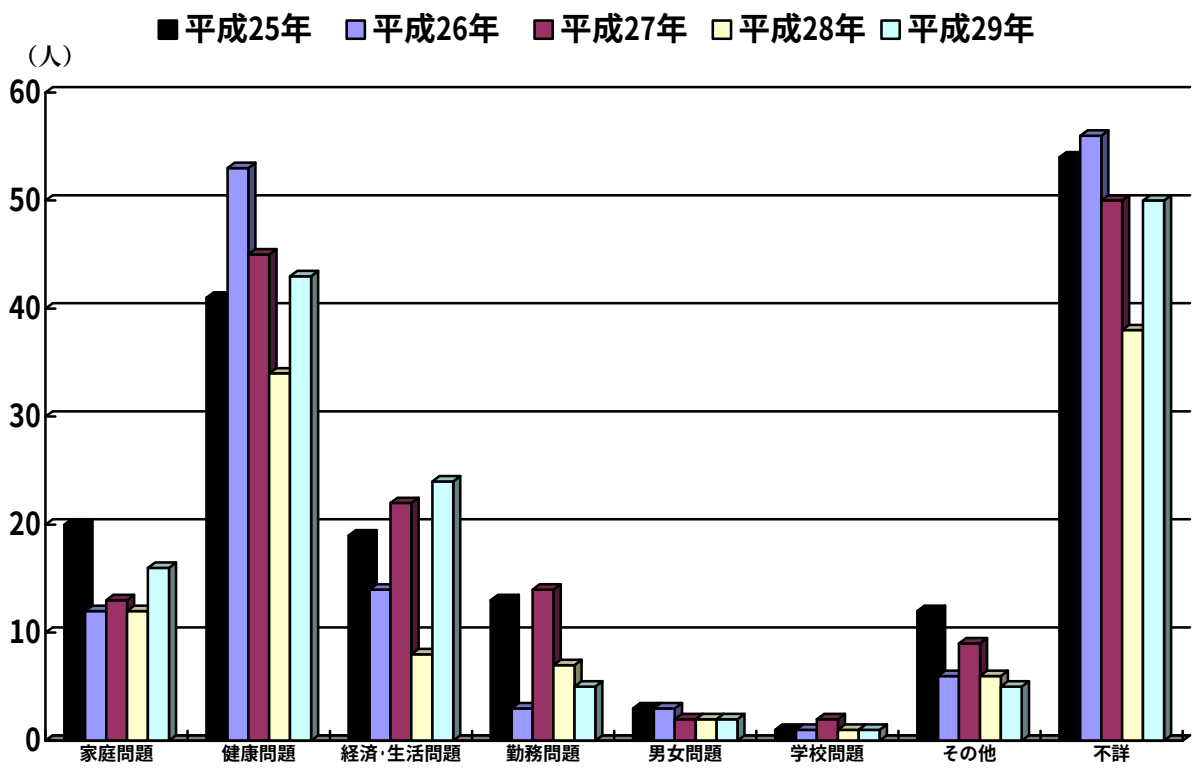
＜　表 5．原因・動機別自殺者数と割合　＞

	平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年	
	計上数	割合(%)	計上数	割合(%)	計上数	割合(%)	計上数	割合(%)	計上数	割合(%)
家庭問題	20	12.3	12	8.1	13	8.3	12	11.1	16	11.0
健康問題	41	25.1	53	35.8	45	28.7	34	31.5	43	29.5
経済・生活問題	19	11.7	14	9.5	22	14.0	8	7.4	24	16.4
勤務問題	13	8.0	3	2.0	14	8.9	7	6.5	5	3.4
男女問題	3	1.8	3	2.0	2	1.3	2	1.9	2	1.4
学校問題	1	0.6	1	0.7	2	1.3	1	0.9	1	0.7
その他	12	7.4	6	4.1	9	5.7	6	5.6	5	3.4
不　詳	54	33.1	56	37.8	50	31.8	38	35.1	50	34.2
総計	163	100.0	148	100.0	157	100.0	108	100.0	146	100.0

※原因・動機は 3 つ以内の複数計上とし、割合は計上数に基づき算出(母数割)



【　図 7．平成 29 年における原因・動機の割合　】

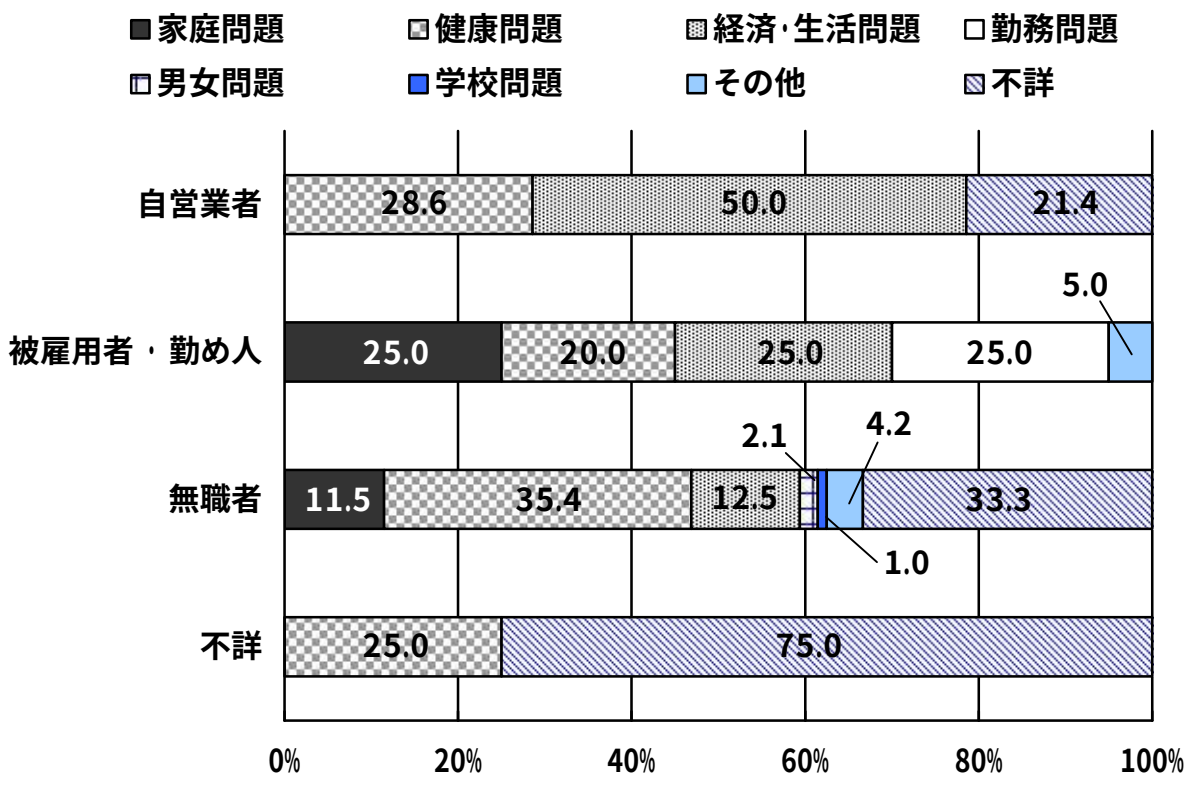


【　図 8．原因・動機別自殺者数の推移　】

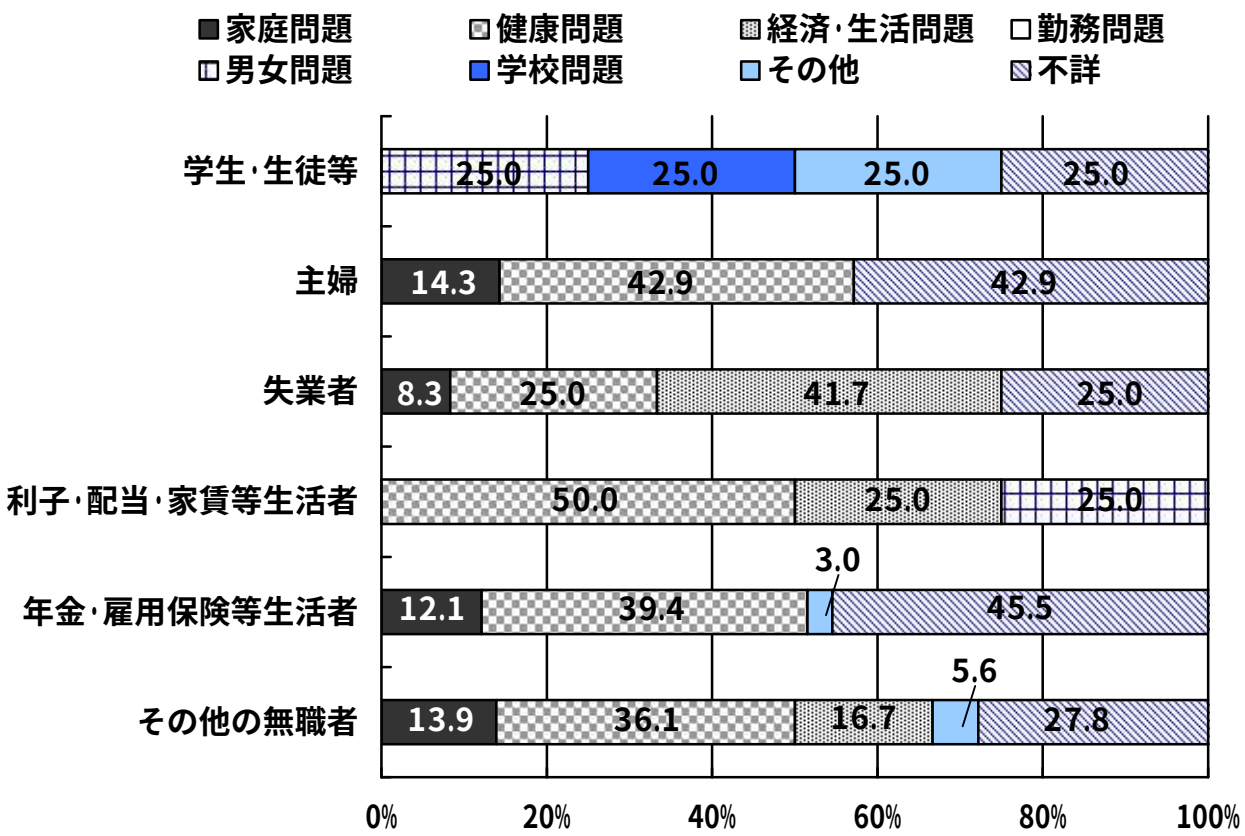
＜　表 6．平成 29 年における年代別の原因・動機順位　＞

	第１位		第２位		第３位	
	原因	割合(%)	原因	割合(%)	原因	割合(%)
10 歳代・20 歳代	健康問題（同数）	18.8	その他	12.5	家庭問題（同数）	6.3
					男女問題（同数）	6.3
	経済・生活問題（同数）	18.8			学校問題（同数）	6.3
30 歳代	健康問題	40.0	経済・生活問題	24.0	家庭問題	8.0
40 歳代	健康問題	20.0	家庭問題	17.1	経済・生活問題	11.4
50 歳代	経済・生活問題	30.8	健康問題	19.2	家庭問題（同数）	7.7
					勤務問題（同数）	7.7
60 歳代	健康問題	37.5				
70 歳代	健康問題	46.2	家庭問題	15.4		
80 歳以上						
全年代	健康問題	29.5	経済・生活問題	16.4	家庭問題	11.0

※順位は、「不詳」を除く。



【　図 9．平成 29 年における職業別原因・動機の割合　】



【　図 10．平成 29 年における無職者の原因・動機の割合　】

＜　表 7．原因・動機の判断材料　＞

	平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年	
	計上数	割合(%)	計上数	割合(%)	計上数	割合(%)	計上数	割合(%)	計上数	割合(%)
遺書	47	35.6	47	37.3	43	33.8	33	35.1	44	36.1
自殺サイト・メール等書き込み	6	4.6	2	1.6	8	6.3	3	3.2	4	3.3
その他の生前の言動	25	18.9	21	16.7	26	20.5	20	21.3	24	19.7
該当なし	54	40.9	56	44.4	50	39.4	38	40.4	50	40.9
総計	132	100.0	126	100.0	127	100.0	94	100.0	122	100.0

※原因・動機の判断材料は、複数計上とし、割合は計上数に基づき算出(母数割)

5　自殺未遂歴の状況

平成 29 年の自殺者の 22.5%に自殺未遂歴があり、男女別では、男性が 15.5%、女性が 38.9%であった（表 8)。

＜　表 8．自殺未遂歴の状況　＞

		平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年	
		自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)
未遂歴あり	男性	19	21.1	8	9.4	17	23.3	10	16.4	13	15.5
	女性	14	36.8	17	44.7	15	30.6	5	16.1	14	38.9
	総計	33	25.8	25	20.3	32	26.2	15	16.3	27	22.5
未遂歴なし	男性	50	55.6	57	67.1	47	64.4	39	63.9	55	65.5
	女性	18	47.4	18	47.4	29	59.2	21	67.7	16	44.4
	総計	68	53.1	75	61.0	76	62.3	60	65.2	71	59.2
不詳	男性	21	23.3	20	23.5	9	12.3	12	19.7	16	19.0
	女性	6	15.8	3	7.9	5	10.2	5	16.1	6	16.7
	総計	27	21.1	23	18.7	14	11.5	17	18.5	22	18.3